



2024-2025 NSSK ESG Report



株式会社日本産業推進機構

〒105-6241 東京都港区愛宕 2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー 41階
nssk-japan.com

日本経済に新しいチカラを
In Partnership with Management and Employees



東京スカイツリー（東京都）



奄美大島（沖縄県）



白川郷（岐阜県）

2024-2025 NSSK ESG Report

INDEX

Commitment

- 03 NSSKのESGコミットメント
 - 05 CEOメッセージ
 - 11 NSSKのESGアプローチ
 - 17 ESG方針と実践

Action

- 19 NSSKのESGへの取り組み
 - 21 NSSKによるファンドの組成
 - 27 地域・インパクトファンドの取り組み
 - 29 サステナビリティへのコミットメント
 - 31 NSSK Award – Case Study
 - 39 社会貢献活動

Philosophy

- 41 NSSKのフィロソフィー
 - 43 NSSKフィロソフィー
 - 47 NSSKのESG推進組織

- 49 ダイバーシティ&インクルージョン
- 50 ESG座談会
- 53 社歌 / 編集後記
- 54 会社概要

PEI Firm of the Year in Japan 2023 受賞

PEI Mid-Market Firm of the Year in Asia 2023 受賞

日本産業推進機構は、Private Equity International (PEI) 社主催の2023年PE Firm of the Year in Japanならびに2023年Mid-Market Firm of the Year in Asiaに選出されました。PEIは「同業他社や業界関係者の視点からその年のベンチマークになるようなファーム」を本アワードで選出しています。NSSKでは、Firm of the Year in Japanについては、2017年、2018年、2020年、2022年に続き5回目の受賞となります。また、Mid-Market Firm of the Year in Asiaは初受賞になります。この賞はアジア地域のなかでも特に中堅市場に焦点を当てたファンドの運用実績や、投資戦略などの面で堅調な成果を上げたファームに贈られるものです。PEIからは過去に2020年、2021年にはPEI Operational Excellence Awardも授賞しております。このような評価をいただき、大変光栄であり、この受賞に恥じないよう、これまで以上に投資先の財務およびESGにおいて優れた結果を上げていくよう引き続き努力を続けてまいります。



PRIVATE EQUITY INTERNATIONAL
AWARDS 2017
Firm of the year
in Japan



PRIVATE EQUITY INTERNATIONAL
AWARDS 2018
Firm of the year
in Japan



PRIVATE EQUITY INTERNATIONAL
AWARDS 2020
operational
excellence
WINNER
ASIA-PACIFIC



PRIVATE EQUITY INTERNATIONAL
AWARDS 2020
Firm of the Year in Japan



PRIVATE EQUITY INTERNATIONAL
AWARDS 2021
operational
excellence
WINNER
ASIA-PACIFIC



PRIVATE EQUITY INTERNATIONAL
AWARDS 2022
Firm of the Year in Japan



PRIVATE EQUITY INTERNATIONAL
AWARDS 2023
Firm of the Year in Japan



PRIVATE EQUITY INTERNATIONAL
AWARDS 2023
Mid-Market Firm of the Year
in Asia

Thank You!

With much appreciation to all of our Partners,
Friends, Families and Supporters.





Commitment

NSSKのESGコミットメント

- 05 CEOメッセージ
- 11 NSSKのESGアプローチ
- 17 ESG方針と実践

東京スカイツリー（東京都）

CEOメッセージ



創業10年で日本の プライベートエクイティ投資領域における リーダーシップを確立

皆様からの多大なご支援のもと、私たち経営陣ならびに従業員パートナーの並々ならぬ働きが功を奏し、NSSKはこの10年のうちに、(1) 事業承継投資においては紛れなき真のリーダーとしての地位を確かなものとし、(2) 破綻企業の再生を含め、専門知識を要する複合的な手法を用いて行う特殊分野での投資においては、リーダーとして衆目を集める地位に到達、(3) ヘルスケアや教育などの規制産業向け投資の領域でもリーダーの地位に就くことができたほか、(4) 日本およびアジアにおいて、ESG推進のロールモデルとなってその普及を呼びかけ、(5) 地域金融機関とは共存共栄を企図した独自のエコシステムを構築、そして(6) 優れたリスク調整後リターンを実現するなど、数々の成果を上げることができました。

NSSKのパフォーマンスを根底から支えるものは、私たちが関わる地球環境、社会問題、ガバナンス問題へのコミットメントであると考えています。そこへの揺るぎない献身こそがNSSKグループに属するすべてのメンバーが共有する価値観であり、そのもとで、ともに働く人々の人生をより良いものに変えていこう、その人たちがいま暮らしを楽しむ地域社会をより良いところにしていこうとの信念をもって、たゆまぬ努力を続けております。2024-2025年版ESGレポートではこうした活動の数々をご紹介します。



設立10周年記念イベントを京都の東寺にて開催（写真は東寺の五重塔）

1. 社会への「インパクト」

私たちはこの10年のあいだに、関係するあまたの産業を横断する形でビジネスの成長を促し、NSSKグループ2万人の従業員のためにより魅力的な職場環境を整備して、一人ひとりがもつ将来への希望をかなえ、成功へと導く道筋を創り上げてきました。

私たちが投資家の皆様から受託し運営する資産は総額で約2,000億円、投資先企業の年間売上高はグループ総額で3,000億円に達しています。また、ダイバーシティに対するコミットメントの推進からは目に見える成果が得られており、現在NSSKグループの女性従業員比率は74%、全管理職に占める女性割合は30%にまで達しているほか、CEO、COO職の20%を女性が占めるに至っております。

さらには、カーボンニュートラルを2050年までに達成すること、投資先企業すべてにわたり透明度の高いガバナンスを構築するために揺るぎない努力を続けること、これらも私たちの誓いとしております。

2024年9月時点における実績

運用資産残高	約2,000億円
投資対象業界	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスケア 教育 B2Bサービス 製造業等
カーボンニュートラル目標設定率	100%
ガバナンス達成率	100%

NSSKグループ

総収益	約3,000億円
EBITDA	約300億円
従業員数※1	約20,000人
女性従業員比率※2	74%
女性管理職比率※2	30%
女性CEO/COO比率	20%

※1 エクジティブ投資先を含む ※2 2024年6月30日時点

NSSKとともに歩んだ皆様へ

日本産業推進機構（以下「NSSK」）は2024年に創業10周年を迎えました。皆様からの手厚いご支援とご信頼、そしてご厚誼をもちまして、このたびの重要な節目を迎えることができましたことを心より篤く御礼申し上げます。

つきましては、創業した2014年11月1日から10年の記念日を迎えるにあたり、796年創建、登録世界遺産の仏教寺院である京都東寺におきまして感謝イベントを開催いたします。私たちの来し方をふり返り、皆様から寄せられた多大なるご支援に感謝申し上げる場といたしたく、ご来臨を賜れば幸甚に存じます。

代表取締役社長
ESGコミッティー議長
津坂 純

CEOメッセージ

私たちは、創業以来10年にわたり、女性のエンパワーメントが事業成長を加速させ、それが優れた財務的成果に結びつくものであると、強く意識してまいりました。データはそれを如実に物語ります。

卒業先企業のD&Iの取り組みと財務的成果

業種	女性従業員比率	女性管理職比率	EBITDA成長率	投資リターン
ヘルスケア	79%	61%	23%	—
メディア	57%	29%	42%	—
ヘルスケア	79%	46%	94%	—
消費者サービス	47%	17%	27%	—
消費者サービス	54%	31%	86%	—
ロジスティクス	26%	0%	8%	—
レジャー	59%	27%	35%	—
不動産	65%	12%	136%	—
平均値*	58%	28%	56%	4.1x / 44%

※ 卒業先企業8社の平均値

私たちは日々、女性のエンパワーメントがいかに良い結果をもたらすかを目の当たりにしてきました。実例として、井上由紀子氏（WEWORLD（外国人向け日本語学校運営、旧ISIグローバル）取締役COO）、川田雅子氏（シニア向けデジタルリテラシー事業運営 MeLife 取締役副社長）のインタビューをP50に記載しておりますので、ぜひご一読ください。

人材における女性比率、さらにはリーダー階層における女性比率を高めていくことは極めて重要です。データが示す通り、女性の参画、エンパワーメントと事業の成果には強い相関関係が見てとれます。EBITDA成長率に反映されるこれらの力強い事業成果は、ひいては優れた財務リターンを生み出す中核となります。私たちは、女性活躍推進をNSSKバリューアップ・プログラム（NVP®）のプレイブックのなかに重要なKPIとして組み込んでおり、今後もこの投資テーマの旗振り役を果たしてまいります。

また、等しく重要な事項に、「幸福度指数」として計測できる従業員満足度の高度化があります。従業員の「幸福度」を測るために、従業員定着率を主要業績評価指標として採用しモニタリングを行っております。まだデータを取り始めたばかりながら、得られた数値からはその進展が見えてきております。

今後も従業員の幸福度向上に向け、さらに取り組みを重ねてまいります。従業員の幸福度がビジネス成果に良い影響を与えるとの正の相関性について、結論づけるにはまだ多くの作業が必要ですが、初期のデータはそれが極めて有望であることを示しています。

2. 温室効果ガス排出量削減に向けた取り組み

NSSKは2050年までのカーボンニュートラル達成に向けて力を尽くすことをコミットしており、2030年までに温室効果ガス（GHG）排出量を30%削減するため、投資先企業の経営陣・従業員パートナーと日々緊密に連携しております。NSSKの取り組みはまだ初期段階ですが、当該領域で豊富な実績を有する「ゼロボード」社からの支援のもとで、GHGに関する影響測定標準化を進めるとともに、投資対象先のさまざまな産業における排出量削減のための実施マニュアルの作成とその実行に努めております。

➡ 詳細はP.29をご覧ください

3. NSSKが「草の根」レベルで行っていることは

NSSKでは例年、優れたパフォーマンスを上げ、かつESGの導入・実行に関して卓越した成果を残した投資先企業に「NSSK Award」を授与して表彰しています。2024年度の受賞者は以下の通りです。

	社関 (P.33参照)
	タカギ (P.34参照)
	WEWORLD (P.35参照) ※旧ISIグローバル
	クラフト (P.36参照)
	日本エネルギーコンポーネッツ (P.37参照)
	ユーエスマート (P.38参照)



株式会社社関 板山代表取締役へAwardの盾を授与

➡ 詳細はP.31をご覧ください

4. 従業員への還元を重要な経営指標に

私たちが投資先企業の経営陣と協働で目指す重点目標の一つに、従業員にとって経済的・精神的に豊かな未来の創出があります。そのためには、事業の成長にふさわしい組織づくりと資金調達、透明性と公平性をもって設計された人事施策、経営陣と従業員が一丸となって目標に向かって走ることのできる経営体制が必須となります。そして、そこでの報酬体系は、目標と業績とに完全に連動するものでなければなりません。従業員の成果に報い、賃上げを達成することを経営陣の重要なKPIとする理由はここにあります。

NSSKポートフォリオ企業各社における従業員の処遇向上の実績は、これまで満足のいく推移をたどっています。ポートフォリオ企業全体での従業員報酬は14.3%の増加を達成しており、これは厚生労働省が行う雇用統計調査における過去5年間実績3.5%をはるかに上回るものとなっています。さらに広く参加を促すために、現在、従業員持株プログラムの設計を進めています。「ものごとがうまくゆけば、やっている皆もうまくいく」とするアプローチが持続可能な成功のためには欠くことのできないものである、との考え方を基底に置いています。

5. さらなる地域経済発展へ貢献するための体制強化

GDPの約60%は首都圏以外の地域経済が担っています。我が国の発展に不可欠な地域経済を支えるというコミットメントの一環として、NSSKは全国およそ90行の地域金融機関と緊密に連携しています（P22参照）。これらの金融機関のバランスシートは合計で400兆円にのぼり、10,000を超える支店でサービスが行われています。各地域の提携金融機関との協力をさらに進めるために、NSSKの経営委員会では、地方銀行向けにプライベートエクイティ研修プログラムを立ち上げることとしたほか、地域事務所2カ所の開設を決定いたしました。2025年度中には名古屋、大阪での拠点開設を予定しております。これらの拠点は、NSSKの投資活動に資する拠点としての役割のみならず、ポートフォリオ企業およびNSSK全従業員が利用できる地域拠点としての役割を目指します。私たちは、日本の地域経済市場のなかで選んでいただけるプライベートエクイティ運営会社となるべく、今後ともまい進してまいります。

CEOメッセージ

6. 新しい命を授かった家族への支援制度

日本では人口減少に対処するため、政府はさまざまな公的施策を行っています。NSSKでは、家族のなかに新しい命を授かった従業員に向けて、支援のためのファミリーサポート制度を新たに設けました。新しい家族が増えたときは、それにもなう家計費の増加に鑑み、一人ひとりに家族支援金を支給します。NSSKの家族が増えることはとても喜ばしいことです。私たちは、このプログラムにより従業員の経済的な負担を軽くすることで、おのおのが家庭を築き、一人でも多くの笑顔の子どもたちが増えていくことを期待しています。

7. 「善」の力で世界により良い未来を

言うまでもなく、世の中はすべてが良いことばかりではありません。人類は地球上のいたるところで、人命の損失、心の損傷、経済的損失をもたらす衝突の脅威に晒され、挑戦を受けています。それらは、地球環境や失われゆく富を守ろうとする厳しい戦いでもあり、あるいは、対話や議論を通じてではなく、脅しと力によって引き起こされる地域紛争や政治紛争でもあります。しかし、希望は常に存在します。「善」の力は、人類が次の世代により良い未来を創造するための新たな道を示してくれます。私たちは、これを自らの課題だと心に銘じ、この道を切り拓くために行動してゆかねばなりません。今日のような世の中では、私たち一人ひとりが行動し、そこからさらに皆がまとまって動くことが重要だと考えています。より良い世界と明るい未来を切り拓くため、今すぐ動き出しましょう。

8. 終わりに

NSSK創業から早10年が経ちましたが、まるで一夜のうちに起こったかのような想いがいたします。私たちは、NSSKを創業するにあたり、世の中に変化をもたらし、人々の仕事や人生に対する考え方にポジティブな影響を与え、希望や喜びの礎となるような持続力のあるビジネスを構築したいと考えました。その理念はいまも変わっておりません。次の10年を見据えて唯一確かに申し上げられることは、皆様にはこの私たちの旅のよき伴侶であり続けていただきたいということです。

常に人として正しきことを行い、私たちと関わりを持つすべての皆様に物心両面の幸せをもたらすべく懸命に力を尽くす。そのミッションを果たし続けながら、あらゆる活動においてESGの向上を追求しつつ、世界の投資ビジネスのリーダーとなる。これが私たちの目指すところであります。投資家の皆様、ステークホルダーの皆様からなおいっそうのご支援を賜りたく存じます。

また、創立10周年を記念して、日本の著名なシンガーソングライター・小椋佳氏 (P.53参照) に楽曲制作を依頼いたしました。タイトルは「熱しの誓い (いさおしのちかい)」です。この歌は、NSSKのフィロソフィー (P.43参照) と、私たち一人ひとりが確かな志と思いやりをもって毎日をどう生きるかを表現しています。お時間ございましたらどうぞ一聴ください。

社歌「熱しの誓い」

https://youtu.be/_WYQNUU3b94



「人として正しきを貫き、..人々にその生を高からしめ幸せをもたらす..とわにその役を果たす..」

「熱しの誓い」に謳われている通り、私たちはこれからもたゆまぬ努力を重ね、皆様の幸せのために力を尽くせることを常に喜びといたします。

NSSKチームを代表して

津坂 純



松永 安彦
パートナー

石田 昭夫
副会長 シニアパートナー

津坂 純
代表取締役社長

徳山 一晃
シニアパートナー

秋山 翔平
パートナー

NSSKの経営委員会から皆様へ

NSSKの経営委員会はESG推進を最優先に捉え、その価値観と原則を守り、育み、すべての業務に適用してまいります。

NSSKの経営委員会を引き続きよろしく願いいたします。



Policy 環境・社会・ガバナンス (ESG) に関する基本方針

私どもは、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する基本方針を実践することが社会的責任に応えるものであり、また、投資ポートフォリオからのリターンの向上を可能にするものと考えます。私どもは、創立以来、以下の方針を基盤として投資に関する活動を行っております。

1. ある特定の企業に投資を行う際には、当該企業を保有する期間のみならず、投資自体の可否を検討する過程においても、当該企業に関するESGの問題を考慮します。
2. 必要に応じて、直接的にまたはポートフォリオ企業の代表者等を通じて、利害関係者の考えを汲むようにします。
3. 長期的な持続可能性を目指し、投資を行った企業の成長と改善に努めます。取締役の派遣やその他のガバナンス上の手段を通じ、ポートフォリオ企業と共にESG分野でのパフォーマンスの向上及び悪影響を最小限に留めるための努力を行います。
4. 監査、リスク管理、潜在的な利益相反の分野においてふさわしい水準の監督を行い、さらに投資家と経営者の利害の一致を図る施策の実施に努めます。
5. 賃金、職場での安全、雇用機会の均等、団結権、団体交渉権その他のすべての面で投資対象国における労働法を遵守します。
6. 商業的な有利性を確保するための賄賂及びその他の不適切な支払いを禁止する厳格な方針を貫きます。
7. 投資活動によって影響を受ける人々の人権を尊重し、資金が児童労働や強制労働、差別的政策を行う企業に流れていないことを確認するよう努めます。
8. ESGに関連する事項に関して投資家にタイムリーな情報提供を行います。
9. ポートフォリオ企業からのESGに関する開示を求め、ポートフォリオ企業やその周辺企業が本基本方針に沿って事業を推進するよう推奨します。

Slogan NSSKコーポレートスローガン

日本経済に新しいチカラを
In Partnership with Management and Employees

NSSKのESGアプローチ

NSSKでは、プライベートエクイティの投資活動のなかで社会的責任に応え持続可能な社会の実現に貢献するため、複数の取り組みへ参加・賛同しております。

取り組みへの参加

責任投資原則 (PRI) への署名

NSSKはESGにおける課題に配慮した責任投資へのコミットメントを表明するため、国連が支援する責任投資原則に署名しております。2023年には国際的に開催された日本プライベート・エクイティ協会とのコラボレーションイベントにパネリストとして共同参加しております。

Signatory of:



(出典: <https://www.unpri.org/about-us/about-the-pri>)

JPEA (日本プライベート・エクイティ協会) ESG委員会

日本プライベート・エクイティ協会およびその会員のESG活動を推進するべく2023年1月に設立されたESG委員会メンバーに連続して選出され、PE協会としてのESG活動の企画立案のサポートをしております。



一橋大学院での講義



一橋大学院での講義の様子

EY Japan主催の「サステナブル経営」の講義で「ESGに関するPEファンドの取り組み」というテーマで登壇を実施しました。PEファンドにおける各フェーズでのESGの取り組みや、投資先のケーススタディを交え、PEファンドとESGの関係性について説明しました。これにより、学生たちにPEファンドの社会貢献について理解を深めてもらうことができました。



インパクト投資の運用原則への署名・アジア太平洋地域の議長に再任

NSSKは、グローバル・インパクト投資ネットワーク (GIIN[®]) が策定しているインパクト投資におけるグローバルな市場基準である「インパクト投資の運用原則」に署名しております。GIINは2022年10月に世界銀行グループの国際金融公社 (IFC) から本原則のホスト業務の移管を受けております。

※ GIIN: インパクト投資の活性化を目的にロックフェラー財団を中心とした機関投資家によって設立された国際的な団体で、世界におけるインパクト投資の拡大と質の確保に向け、知見の交換や業界のエビデンススペースの実践、促進などの活動を展開しています。



代表の津坂が「インパクト投資の運用原則」のアジア太平洋地域の議長に再任され、インパクト投資のベストプラクティスを目指し地域メンバーをけん引しております。また、2024年4月には国内の署名機関を集めての「OPIM in person」を開催し、署名機関との意見交換を実施しております。

PEI - Regional Impact Forum in Asia

2024年10月に開催するPrivate Equity International (PEI) 社主催のRegional Impact Forum in Asiaでインパクト投資の運用原則のSecretaryのJoohee Rand氏と「ESGからインパクトへ」というテーマで登壇します。



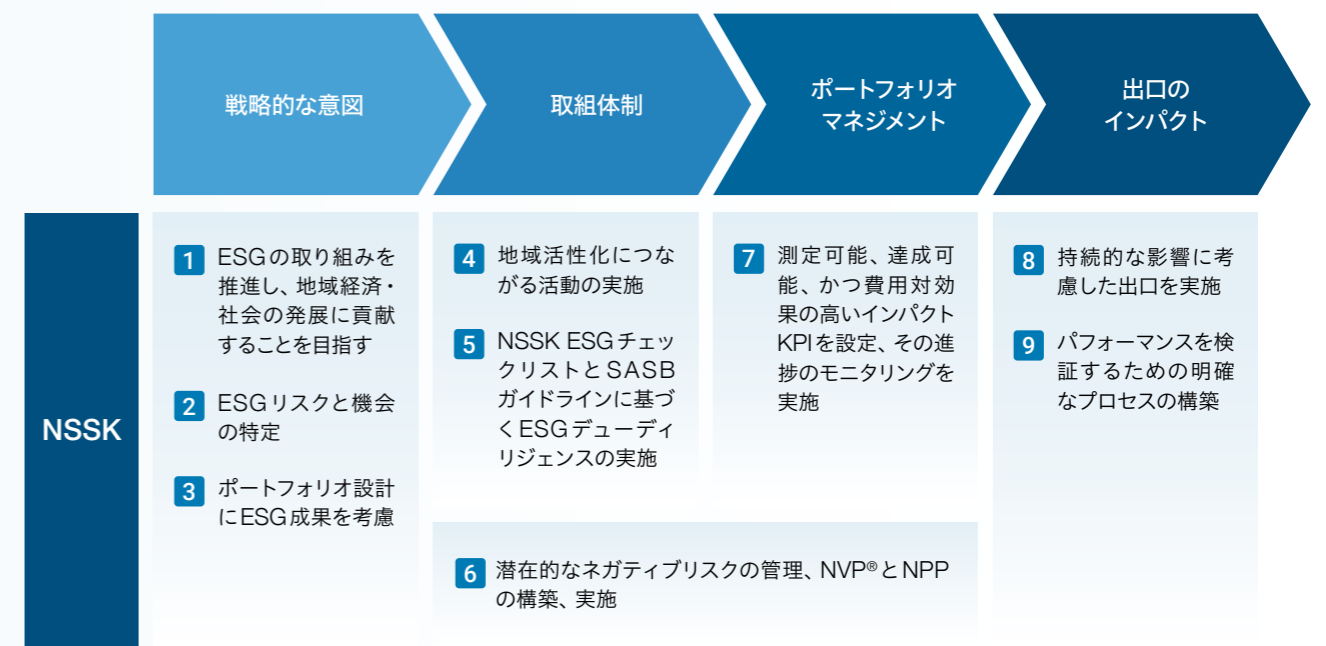
インパクト投資の運用原則

インパクト投資の運用原則は、インパクト投資において重要とされる規律や透明性、信頼性を市場にもたらすものです。同原則は、署名機関が経済的利益だけでなく、投資によって得られる開発効果についても精査し、モニタリングすることを定めています。署名機関はインパクトファンドの運用について独立した第三者の検証を受けることにより、高い透明性を担保し、投資家からの信頼を高めることが期待できます。



「インパクト投資の運用原則」は5周年を迎えております

インパクト投資の要素



NSSKのESGアプローチ

ESG 構成要素

NSSKは、ESGに関して「均等な機会の提供」「多様性」「雇用創出」「最善のガバナンス」「健康と福祉」「環境」を重要な要素として認識し、責任ある投資活動を遂行し、従業員の幸せを追求しています。



Message

ESGに関するポリシーと手続きは、NSSKバリューアッププログラム (NVP®) の基盤です。

私たちは従業員の幸福度指数を高めることを約束し、すべての従業員パートナーとの価値・目標の共有、そして連携を目指しています。

また、常に人として正しいことを行うというコミットメントを持っています。毎日、会社やお客様、パートナー、地域社会、そして家族のために素晴らしい貢献をしてくれている経営陣と従業員に心から感謝しています。



代表取締役社長
ESGコミッティー議長
津坂 純

- ESGを前面に押し出した投資活動の実践
- ESG戦略に基づいたポートフォリオ構築の推進
- 責任ある投資の推進
- チーフコーポレートフィロソフィーオフィサーを中心とした研修の導入 (NPPプログラム)

ESG方針と実践

日本経済を取り巻く環境とNSSKの意義

中小企業においては、事業承継や人材不足、市場環境変化への対応など経営者を悩ませる課題が多数存在しています。また、経済の関東一極集中のなかで、日本全体の経済活性化の必要性がより高まると同時に、事業の国際化、Gen AI (ChatGPT)、デジタル化の流れを受けて、従来の産業構造の見直しも迫られています。こうした重大な課題の解決に貢献するべく、NSSKはグローバル・エクセレント・カンパニーで培った知見やノウハウを活用し、潜在力の高い日本の魅力的な企業を対象に、ESGを重視して企業・株主価値の向上はもとより、日本ひいては世界経済の発展に資する投資と経営支援を実行しています。ESGはNSSKの事業活動の中核的要素であり、NSSKの投資プロセスの基礎となるものであり、全従業員の物心両面の幸福に貢献し、リターンの向上につながっています。

事業活動

投資プロセス



概要		
● 投資案件のスクリーニング	● 投資メモの作成 ● ポートフォリオ設計にESG成果を考慮	● 投資先企業に向けて独自の経営支援パッケージ (NSSKバリューアップ・プログラム=NVP®) を提供
ESGの取り組み		
● 外部専門家を活用したESGデューデリジェンスの実施 ● ESGチェックリストでの評価分類 ● ESG課題の洗い出し	● 投資委員会での確認 ● リスクと改善策の特定	● ESGフレームワークの導入 ● 各投資先においてESG KPIの設定 ● 継続的なモニタリング ● 成果の測定と評価 ● ESG監査役による監査の実施

ファンドプロセス



概要	
● 政府系機関・海外大手等年金基金、大手金融機関、地域の金融機関等から調達した資金によるファンド組成	● 投資ファンドのESGパフォーマンスの進捗管理・開示
ESGの取り組み	
● ESGに関する主要な取り組みと行動指針について説明 ● 投資家からのESG質問書への対応	● ESGパフォーマンスの定期報告 ● 量的および定性的情報の提供 ● ESGに関する投資家からのQA対応

NVP® NSSKバリューアップ・プログラム



NSSKの経営支援アプローチ

NSSKでは、投資先企業に向けて独自の経営支援パッケージであるNVP® (NSSKバリューアップ・プログラム) を提供しています。NVP®は、エクセレント・カンパニーが実践し、業務改善、人材教育、財務効率の改善などのノウハウを、国内企業の実態を踏まえて体系化したものであり、高度な専門人材によって構成されるNVP実行支援チームによって展開されています。さらに、グローバルな競争力を有する日本企業を一つでも多く支援・創出するべく、北米・欧州・アジアなどに張り巡らせたネットワークと国際的な経営経験を持つ有識者の経営指導を活用する機会を提供し、投資先企業の経営基盤強化を図っています。



奄美大島（沖縄県）

Action

NSSKのESGへの取り組み

- 21 NSSKによるファンドの組成
- 27 地域・インパクトファンドの取り組み
- 29 サステナビリティへのコミットメント
- 31 NSSK Award – Case Study
- 39 社会貢献活動

NSSKによるファンドの組成

2,000億円のAUM活用による 企業の成長支援、さらには地域経済への貢献へ。

2,000億円にのぼるAUM活用による潜在力の高い企業への投資と経営支援を通じて、日本の地域経済の発展及び人類、社会の進歩発展に貢献します。

日本産業推進機構 1号

日本産業推進機構1号投資事業有限責任組合は、2015年に設立されました。本組合は、出資先企業と長期的な出資関係を維持することを目的として設立されております。これにより、日本産業推進機構及び投資先企業の経営陣は丸となり持続可能な企業価値の向上を目指しております。

当社ではNSSKバリューアップ・プログラム (NVP®) を通じて重要な事業の改善に役立つ施策を講じてきたほか、バランスシート及びコスト構造の最適化、経営手腕のある人材の補強を実施しております。その結果いずれの投資先企業においても業績は順調に推移しております。

日本産業推進機構 3号

日本産業推進機構3号投資事業有限責任組合は、2021年に設立されました。本組合では、分散された10-15件程度のプラットフォーム投資を想定しております。投資対象は高い収益性を背景に安定的かつ強固なキャッシュフローを創出し、確立されたマネジメントを有する優良企業であり、ポートフォリオ全体として地域、業種（セクター）、投資テーマ、及び投資時期での分散を目指します。

また案件類型の観点では、引き続き事業承継案件が多数を占めることを想定しているものの、NSSKメンバーの過去の投資実績や投資経験や、本邦を取り巻く昨今の市場環境をも鑑みて、スペシャル・シチュエーション型や非公開化案件等にも注力しポートフォリオを構築してまいります。

日本産業推進機構 2号

日本産業推進機構2号投資事業有限責任組合は、2016年に設立されました。本組合では、日本国内に本店を有する法人その他の事業主体等のうち、特に潜在力の高い日本の魅力的な企業で、ハンズオン経営支援を実行することによる日本の地域経済の発展に資する投資となることが見込まれる案件を中心として投資を実施しております。優れた会社に投資をし、さらにその会社を偉大な会社に転換させるために、当社では他社と差別化したソーシングの実行、統一されたプライシング方法の採用、NSSKバリューアップ・プログラム (NVP®) の導入により、最高の結果を生み出すことを追求しております。

地域・インパクトファンド (5組合)

NSSKの地域・インパクトファンドは、ESG活動の一環として、NSSKのプラットフォームを国内の地域社会への貢献に資するカタチで提供すべく、中部・北陸地域活性化投資事業有限責任組合を1号インパクトファンドとして、2016年より活動を行っております。事業承継案件を中心に、地方の成長性及び潜在力の高い魅力的な中小企業を主な対象として、必要な成長資金、事業の改善に役立つプロセス、人材の補強と育成、国内外への事業展開のサポート、海外顧客の取り込みのサポートなどを速やかかつ具体的にご提供することで、出資先企業及び地元金融機関とともに企業・株主価値の向上を実現し、雇用機会の創出を含めて地域経済・社会の発展に寄与することを目的としています。中部・北陸地域から始めたこの活動は、関東・東日本、近畿・西日本など全国に拡大しており、現在、NSSKグループには、第二世代を含む5つの地域活性化を目的としたインパクト投資のための組合が設立されております。

地域金融機関の基盤・ネットワーク

(2024年9月30日時点)

中国

- 30 岡山 中国銀行
- 31 広島 広島銀行
- 32 鳥取 鳥取銀行
- 33 島根 山陰合同銀行
- 34 山口 山口銀行

四国

- 35 香川 百十四銀行
- 36 徳島 阿波銀行 徳島大正銀行
- 37 愛媛 伊予銀行
- 38 高知 四国銀行 高知銀行

九州

- 39 福岡 福岡銀行 西日本シティ銀行 北九州銀行 福岡ひびき信用金庫
- 40 佐賀 佐賀銀行
- 41 長崎 十八親和銀行
- 42 熊本 肥後銀行
- 43 宮崎 宮崎銀行
- 44 鹿児島 鹿児島銀行 南日本銀行
- 45 沖縄 琉球銀行

北陸

- 15 新潟 第四北越銀行
- 16 富山 北陸銀行 富山第一銀行 高岡信用金庫
- 17 福井 福井銀行

近畿

- 23 滋賀 滋賀銀行
- 24 京都 京都銀行
- 25 三重 百五銀行 三十三銀行 北伊勢上野信用金庫
- 26 奈良 南都銀行
- 27 大阪 関西みらい銀行 池田泉州銀行 大阪商工信用金庫
- 28 和歌山 紀陽銀行
- 29 兵庫 みなと銀行

北海道

- 1 北海道 北洋銀行 北海道銀行

東北

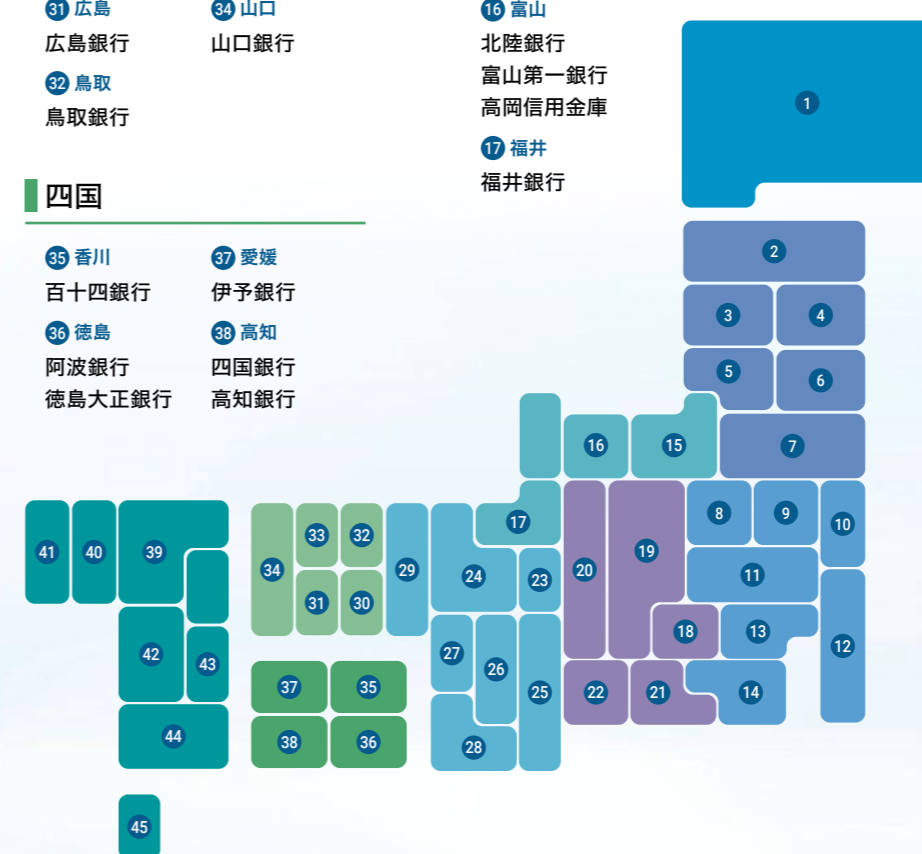
- 2 青森 みちのく銀行
- 3 秋田 秋田銀行
- 4 岩手 岩手銀行 北日本銀行
- 5 山形 山形銀行 荘内銀行 きらやか銀行
- 6 宮城 七十七銀行
- 7 福島 東邦銀行 大東銀行

関東

- 8 群馬 群馬銀行 東和銀行
- 9 栃木 足利銀行 栃木銀行
- 10 茨城 常陽銀行 筑波銀行
- 11 埼玉 埼玉りそな銀行 武蔵野銀行
- 12 千葉 千葉銀行 千葉興業銀行 京葉銀行
- 13 東京 きらぼし銀行 東京スター銀行 東日本銀行
- 14 神奈川 横浜銀行

中部

- 18 山梨 山梨中央銀行
- 19 長野 八十二銀行 長野銀行
- 20 岐阜 十六銀行 大垣共立銀行 岐阜信用金庫
- 21 静岡 静岡銀行 スルガ銀行
- 22 愛知 名古屋銀行 愛知銀行 中京銀行 碧海信用金庫 知多信用金庫 豊川信用金庫



私たちのNVPチームが、チーフコーポレートフィロソフィーオフィサーの大田の指導のもと、各企業にNSSKフィロソフィーを根付かせるために行っているきめ細やかな取り組みは、まさに革新的です。これが、生産的かつ持続可能なポジティブな変化の基盤を築いています。



シニアパートナー
石田 昭夫

NSSKによるファンドの組成

投資先企業 (2024年9月30日時点)


西日本 タカギ



浄水器・散水用品等の水廻り製品の製造・販売を行う企業です。国内のみならず、ベトナムの製造拠点やオーストラリアに販売拠点を展開しています。

▶ <https://www.takagi.co.jp/>

中部 丹羽久



天然由来の素材を用いて製造された4種類のナチュラル系洗浄剤(重曹、クエン酸、セスキ、過炭酸ナトリウム)、消臭剤および塩を企画・販売しています。

▶ <https://www.niwakyu.com/>


東日本 クラフト



栃木県、新潟県、長野県、埼玉県に4工場、タイ・バンコクに2工場を有し、食品、菓子、医薬品などの軟包装パッケージを製造。日本とタイで提供するグローバル軟包装コンバーター企業です。

▶ <https://www.craftz.co.jp/>

西日本 ベストライフ



中古ブランド品等の買取・販売を行うリユース事業を運営。大阪、兵庫、東京、神奈川および埼玉において29店の買取専門店を展開しています。

▶ <https://bestlife-ltd.com/>

中部 レイフィールド



「RAY Field」のブランドのもと、トータルビューティーサロンとして事業展開。東海、九州、北陸、中国地方を中心に、フランチャイズも含めて店舗展開する美容室チェーンです。

▶ <https://rayfield.jp/>

東日本 ケアメディカル



埼玉県においてサービス付き高齢者向け住宅を運営。訪問介護による介護サービスに加えて、地域の医療機関と連携し、訪問看護による医療サービスも提供しています。

▶ <https://care-medical.co.jp/>

西日本 ミライフ



自社開発の教材を利用したeラーニング形式で講座を提供するパソコン教室を運営。全国で136教室を展開しています。

▶ <https://melife.jp/>


中部 SORA GROUP



名古屋を中心に店舗展開している外食企業です。和食、ピッツェリア、ラーメン、ベーカリーなどさまざまな形態の飲食店を運営しています。

▶ <https://sora-g.jp/>

東日本 鴨川グランドホテル



リゾートホテル、ビジネスホテルなど7施設運営。旗艦ホテルの鴨川グランドホテル、ホテル西長門リゾートはともに海岸沿いに立地、魅力ある露天風呂(大浴場/客室内)を備えています。

▶ <https://www.kamogawagrandhotel.ne.jp/>

西日本 カンテックグループ



自然冷媒ヒートポンプ給湯機(エコキュート)の修理・施工・販売に関する事業などを展開。独自のブランド力とマーケティング力で、近畿、北陸、関東の各地域で高いマーケットシェアを有しています。

▶ <https://www.kantec.net/>

中部 ユーエスマート



ショッピングモールなどの内部にインドアプレイグラウンド「キッズランドUS」を出店・運営。全国に店舗展開する業界リーディングプレイヤーです。

▶ <https://kidslandus.com/>

東日本 マイティ・マイティ



顧客企業のDX・デジタルマーケティング施策を支援。製薬業界などのポータルサイトの構築・運用、Webシンポジウム・メルマガ配信、顧客マーケティング部門と一体となった事務局運営サービスなどを提供しています。

▶ <https://www.mighty2.com/>

西日本 エルソニック



「サンキューマート」のブランドで全国に店舗展開。おしゃれでかわいいキャラクター商品、雑貨、衣類などを全品390円均一で販売しています。

▶ <https://www.elsonic.co.jp/>

東日本 クラフト



首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)や関西圏(大阪、兵庫)、東海地方(愛知、静岡)など人口集積エリアを中心に約900店舗を有する業界大手の調剤薬局事業者です。

▶ <https://www.kraft-net.co.jp/>


東日本 WEWORLD



学習塾「信濃学院」を皮切りに、日本語教育事業、留学事業などを展開。日本語学校事業においては国内トップの規模、30年以上の歴史を持つ日本語教育業界のリーディングカンパニーです。

▶ <https://www.weworld.co.jp/>

投資実績の詳細は
当社ウェブサイトをご確認ください。



<https://nssk-japan.com/portfolio/>



東日本 DNS



プロテインやアミノ酸をはじめ、スポーツ栄養学に基づくスポーツ食品・サプリメントを「DNS」ブランドで開発・販売しています。

▶ <https://www.dnszone.jp/>

東日本 ヴァティー



サービス付き高齢者向け住宅・介護付き有料老人ホーム(あんしんホーム、ふるさとホーム)およびデイケアサービス(ケアステーションあさひ)を運営しています。

▶ <http://www.vati.co.jp/>

東日本 日本エナジーコンポーネンツ



国内では茨城県と熊本県、海外では台湾に製造拠点を有し(子会社含む)、主に電力会社向け配電部品、スバライル部品、電気自動車(EV)用の急速充電器コネクタを製造販売する国内有数のメーカーです。

▶ <https://jecomponents.co.jp/>

東日本 next innovation



ファブレスメーカーとして2015年に設立。美容院向けのヘアケアメニュー「S-AQUA(サイエンスアクア)」や機械器具(ヘアドライヤー・デジタルパーマ機等)を企画・製造・販売しています。

▶ <https://nxi.co.jp/>


東日本 創和プロジェクト



札幌市内において披露宴会場(3施設)および教会(1施設)を運営しています。年間約1,000件の挙式披露宴を執り行っている総合ウェディング企業です。

▶ <https://www.sowaproject.jp/>

東日本 社関



栃木県と岩手県に製造拠点を置き、茎わかめ、梅加工品、干し梅、ドライフルーツ、干し芋などのヘルシーな素材菓子を製造販売する素材菓子メーカーです。

▶ <https://sokan.jp/>

東日本 EdulinX



教育とテクノロジーによる高付加価値の教育ソリューションを提供する企業。学習の形を再構築し、直感的でインタラクティブな学習体験を通じて、人々の学習方法の変革を推進しています。

▶ <https://www.edulinx.co.jp/>

東日本 カントクグローバルコーポレーション



大手物流企業などから仕入れた国産の中古トラック・建産機を自社工場にて点検・改修し、東南アジアを中心とする新興国に輸出・販売する事業を行っています。

▶ <https://www.kantoku.co.jp/>

卒業先企業 (エグジット済企業)

▶ 卒業先企業の詳細とESGの成果は、P.25~P.26をご参照ください

	ぶんか社		Welfareすずらん		アイアイ・テー
	八光殿		伊勢夫婦岩パラダイス		ヴァティー
	東海典礼		ホテルキャッスルイングループ		

NSSKによるファンドの組成

NSSKが経営に深く関わらせていただいた企業が 目覚ましい成果を達成し、卒業へ。

NSSKの投資先では、2024年9月末現在、8社が卒業いたしました。いずれの会社に対しても、投資実行時にさまざまなNVP施策を講じ、また、ESGの取り組みも積極的に推進した結果、投資パフォーマンスにおいても素晴らしい成果を達成しています。



卒業先企業

 <p>ぶんか社</p> <p>ぶんか社グループは、漫画雑誌や漫画単行本、およびそれらの電子書籍を主力商品とし、その他にも情報雑誌や一般書籍を紙媒体・電子媒体により出版する総合出版社です。</p> <p>▶ https://www.bunkasha.co.jp/</p>	 <p>伊勢夫婦岩パラダイス</p> <p>三重県の観光名所の一つである夫婦岩に隣接するサービスエリアで、お土産店、レストラン、水族館の複合レジャー施設を運営しています。</p> <p>▶ https://ise-seaparadise.com/</p>
 <p>八光殿</p> <p>大阪府八尾市を中心に多くのセレモニーホールを運営。「感動葬儀」をテーマに一人当たり約3,600時間の研修を修了したスタッフが付加価値の高いサービスを提供。葬儀施行件数は八尾市でトップシェアを有しています。</p> <p>▶ https://hakkoden.co.jp/</p>	 <p>ホテルキャッスルイングループ</p> <p>「ホテルキャッスルイン」のブランドのもと、6つのビジネス・リゾートホテル（総客室数826室）を所有・運営するホテルグループです。</p> <p>▶ https://www.castleinn.co.jp/</p>
 <p>東海典礼</p> <p>愛知県豊川市を中心に多くのセレモニーホールを運営。自社の生花部門による高品質な生花祭壇を提供。葬儀施行件数は豊川市でトップシェアを有しています。</p> <p>▶ https://tokaitenrei.com/</p>	 <p>アイアイ・テー</p> <p>主に北海道内のスーパーマーケット向けに2事業を展開。石狩市を中心に3温度帯対応施設を含む7つの物流センターを持つ物流事業と、特定の青果カテゴリーで道内トップシェアを有する青果卸事業です。</p> <p>▶ https://www.i-i-t-inc.jp/</p>
 <p>Welfare すずらん</p> <p>名古屋市を中心に7施設の住宅型有料老人ホームと3施設の障がい者グループホームを運営。低価格で優良な介護サービスを利用者に提供しています。</p> <p>▶ http://suzuran-group.jp/</p>	 <p>ヴァティー</p> <p>2020年1月にヴァティー1&2の出口を完了しております。現在ヴァティー3として投資を継続中です。</p> <p>▶ http://www.vati.co.jp/</p>



卒業先企業のESGの成果

ビジネスの成果をもたらしている卒業先企業のESGの取り組みの一部をご紹介します。


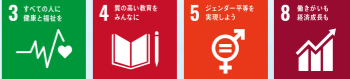
 **ぶんか社** | 投資時期 2017年4月 (2020年10月エグジット) | 関連するSDGs 

ESGの取り組み

- 従業員数 **25%増加**
- 女性従業員比率 **10%増加**
- 女性管理職比率 **7%増加**

- CEOに女性を登用
- 事業のデジタルトランスフォーメーションにより収益性を改善
- デジタル部門の正社員数を3倍に増員
- 社内表彰制度の導入
- 各種研修の実施 (リーダーシップ研修・データ分析研修)

EBITDA 成長率 42%


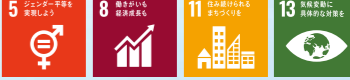
 **Welfare すずらん** | 投資時期 2019年12月 (2022年12月エグジット) | 関連するSDGs 

ESGの取り組み

- 従業員数 **40%増加**
- 女性従業員比率 **75%超維持**
- 女性管理職比率 **45%超維持**

- 施設数の増加 (投資実行時比較33%増)
- 人材教育の一環として、介護マニュアルの整備
- 介護スキルを競う社内コンペの開催
- 内部監査の実施

EBITDA 成長率 94%



 **ホテルキャッスルイングループ** | 投資時期 2018年8月 (2024年6月エグジット) | 関連するSDGs 

ESGの取り組み

- 従業員数 **50%超増加**
- 女性従業員比率 **70%前後維持**
- 女性管理職 **2022年度より女性マネージャーを登用**

- 人事・教育研修を実施し働きやすい職場環境を提供
- 社内表彰制度導入によるモチベーション向上
- パート従業員の正社員登用、メイク長への女性登用
- 地元開催のスポーツイベントを応援するなど地域振興に貢献

EBITDA 成長率 136%

 **東海典礼** | 投資時期 2019年6月 (2023年11月エグジット) | 関連するSDGs 

ESGの取り組み

- 従業員数 **27%超増加**
- 生花の廃棄量 **36%削減**

- 葬儀1件当たりの資源消費量の削減
- 生花廃棄量の削減に向け購買数量の最適化、再利用の促進
- ガソリン廃棄量の削減に向けデジタルコミュニケーションの活用
- 女性が働きやすい環境作りの構築

EBITDA 成長率 86%

地域・インパクトファンドの取り組み

注力すべきSDGsに沿った取り組みを実行し、社会的成果の達成を目指しています。

地域・インパクトファンドの概要

地域経済の活性化につながる、潜在力の高い日本の魅力的な企業を対象に、日本の地域経済の発展に資する投資と具体的な経営支援を実行しています。NSSKの地域・インパクトファンドは、SDGs (持続可能な開発目標) の17のテーマに沿った取り組みを実行し、出資先企業を通じて社会的成果の実現を目指しています。

インパクト投資と組合を通じた社会的成果

インパクト投資とは

財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的および環境的なインパクトを同時に生み出すことを意図する投資行動



NSSKは地域・インパクトファンドを通してこれを実践し、社会的価値と経済的価値をともに追求しています。

地域・インパクトファンドの運営にあたり、SDGs (持続可能な開発目標) のなかでも以下の8つのテーマを重点目標に設定し、社会的成果の達成に注力しています。

社会的成果



SDGsとインパクト投資

SDGs目標	社会的成果	NSSKの取り組み
8 働きがいも経済成長も	中小企業支援	<ul style="list-style-type: none"> 投資規模10億円未満の中小企業をターゲットとした組合 NSSKのノウハウ・リソース・ネットワーク等を活用し、世界の優良企業が採用し、グローバルにも通用する業務改善ノウハウ (NSSKバリューアップ・プログラム=NVP®) を中小企業に対して提供
8 働きがいも経済成長も	雇用創出	<ul style="list-style-type: none"> 従業員数を一つのKPIとして捉え、売上の拡大と共に雇用の創出に注力 人事制度の見直し、業績連動報酬・インセンティブプランの導入等により、働きやすい環境づくり・離職率の抑制を推進
4 質の高い教育をみんなに	人材教育	<ul style="list-style-type: none"> 従業員にとって、働きがいのある労働環境の構築と、必要な職業教育の提供を支援 NSSKフィロソフィー・プログラム (NPP) → 詳細はP.45をご覧ください 教育・研修制度の体制構築・強化
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> 各業界の最先端の技術・ノウハウを把握し、投資先へ適用 デジタルマーケティングの強化 データに基づく経営判断の促進 (システム/クラウドの導入)
12 つくばない つかう責任	環境	<ul style="list-style-type: none"> ESG多様性&インクルージョン委員会を中心に、投資実行前にESG課題の分析を行い、投資後はESG強化の取り組みを支援 食品廃棄量の減少/節電・節水/ペーパーレス化/環境保全を意識した製品づくり等
5 性別平等をすすめる	女性活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> 役員における女性の活躍推進にも積極的に取り組む 働きやすい職場環境づくりの啓蒙活動 (ハラスメント防止研修など) 投資先での積極的な女性管理職の登用
16 平和と公正をすすめる	コンプライアンス強化	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業において不足している、コンプライアンス体制の強化を支援 内部管理等の幹部人材の紹介 会計監査の実施/内部統制強化/労務管理体制の徹底/反社会的勢力の排除体制の構築 ※すべて100%実行済み
3 すべての人に健康と福祉を	ヘルスケア分野	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスケア分野を今後の成長事業領域、投資テーマとして捉え、積極的に投資検討を行う方針 NSSKグループのヘルスケア分野における知見の活用

NSSK ESG ダッシュボード

	従業員数の増加率※1	女性従業員比率	女性・マイノリティ CEOs/COOs比率※3	賃金上昇率※4,5 (投資実行時を100とした場合)
2024年6月時点	+15% (20,341名) ※2	74%	20% (4社)	14.3%
目標値	+12%~15%	75%~80%	30%~40%	—

※1 各社 (エクジット先含む) における投資実行時と2024年6月時点の比較 ※2 2024年6月時点における投資先 (エクジット先含む) 従業員数の合計値
 ※3 投資先企業のうち女性・外国人経営者 (CEO/COOs) を有する企業の比率 ※4 投資実行時と各社の直近年度の比較の増減率平均
 ※5 厚生労働省が実施している全国主要産業に従事する労働者を対象とした賃金構造基本統計調査の結果、令和元年から令和5年の賃金増減率は+3.5

私たちのESGへの取り組みはまだ始まったばかりです。地域経済の活性化、雇用創出、環境保護、社会的正義の推進、そしてガバナンスの透明性向上を目的とした5つのインパクトファンドの設立から始まりました。今では、業界を問わずカスタマイズ可能で実行可能なESGプレイブックを持っています。

パートナー
松永 安彦



ESGは倫理的に正しいだけでなく、ビジネスの価値を高めるものです。戦略的な買い手にとって、ESGに関するポリシーや手続きが整っていることは、買収の際に不可欠な要素となっています。

シニアパートナー
徳山 一晃



サステナビリティへのコミットメント

環境課題への取り組み

全投資先企業において2030年を目途に 温室効果ガス30%削減を目指します。

NSSKでは、気候変動をグローバルな社会課題と認識し、投資先企業においてさまざまな取り組みを実施することで、社会貢献することが責任ある投資であると考えています。



達成に向けたアプローチ



NSSKでは投資先のGHG排出量の測定業務を標準化するため、温室効果ガス排出量算定・可視化クラウドサービスを開発提供する株式会社ゼロボードと包括契約を締結しました。

1. GHG排出量の可視化

Scope	GHG	測定対象	ラベル	活動	測定単位	GHG排出量	CO2排出量	操作
Scope 1	CO2	コールドスタートの使用		(燃料費ごと) 燃料使用量	1,000	2,850	1000	
Scope 1	CO2	船運 (コンテナセー (LNG) を除く) の使用		(燃料費ごと) 燃料使用量	1,000	2,619	1000	
Scope 1	CO2	ガソリンの使用		(燃料費ごと) 燃料使用量	1,000	2,322	1000	
Scope 1	CO2	灯油の使用		(燃料費ごと) 燃料使用量	1,000	0	1000	
Scope 1	CO2	液化天然ガス (LNG) の使用		(燃料費ごと) 燃料使用量	1,000	0	1000	

- チェックした項目の枠に自社の活動量を入力すると自動的にCO₂排出量が算定される
- 自社の活動に該当する項目をチェック
- Scope1~3に対応
- 入力データを元にCO₂排出量を瞬時にグラフ化

2. 削減施策の検討



- ダッシュボードにより会社全体だけでなく、施設別、グループ別の活動状況を把握
- 目標達成状況の確認
- Scope1~3に対応
- 入力データを元にCO₂排出量を瞬時にグラフ化
- ベンダーより削減策の提案
- ベンダーのパートナー企業とのマッチング

地球環境に配慮した企業活動を推進



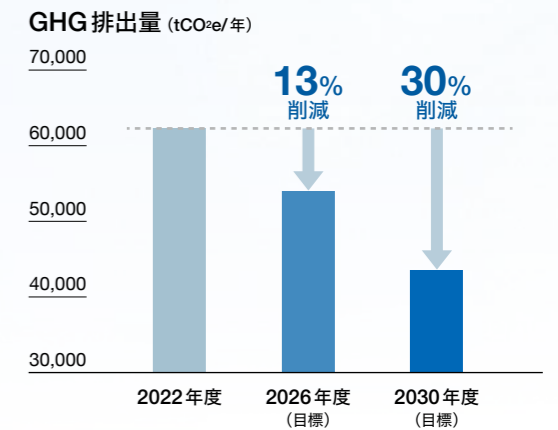
株式会社タカギは、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、企業活動のサプライチェーン全体におけるGHG排出量の適切な把握に努めつつ、脱炭素に向けた取り組みを進めております。NSSKの参画以降、2030年までのGHG排出量削減目標 (30%削減) を掲げ、その達成に向けて、ESG KPIを定めるとともに、ESG推進委員会を設置の上で定期的にその活動をモニタリングする体制を整えております。また、品質・環境方針として、当社は製品の設計開発からアフターサービスまでのトータルな品質システムを確立し、お客様にとってより信頼のおける商品・サービスを提供するとともに環境配慮商品の取扱拡大、省エネルギー、省資源への取り組み、廃棄物の削減等地球環境に配慮した企業活動を推進するため、2005年7月に品質および環境の国際規格であるISO 9001、ISO 14001の認証を取得いたしました。加えて、2023年11月には蛇口一体型浄水器の浄水カートリッジ製造工場にて、食品安全の国際規格であるISO 22000の認証を取得いたしました。今後とも顧客満足の向上およびGHG削減等の環境保全の向上を目指し、品質 / 環境マネジメントシステムの継続的改善に取り組んでまいります。

環境に配慮したGHG削減に向けたロードマップ

2030年度に2022年度比30%削減

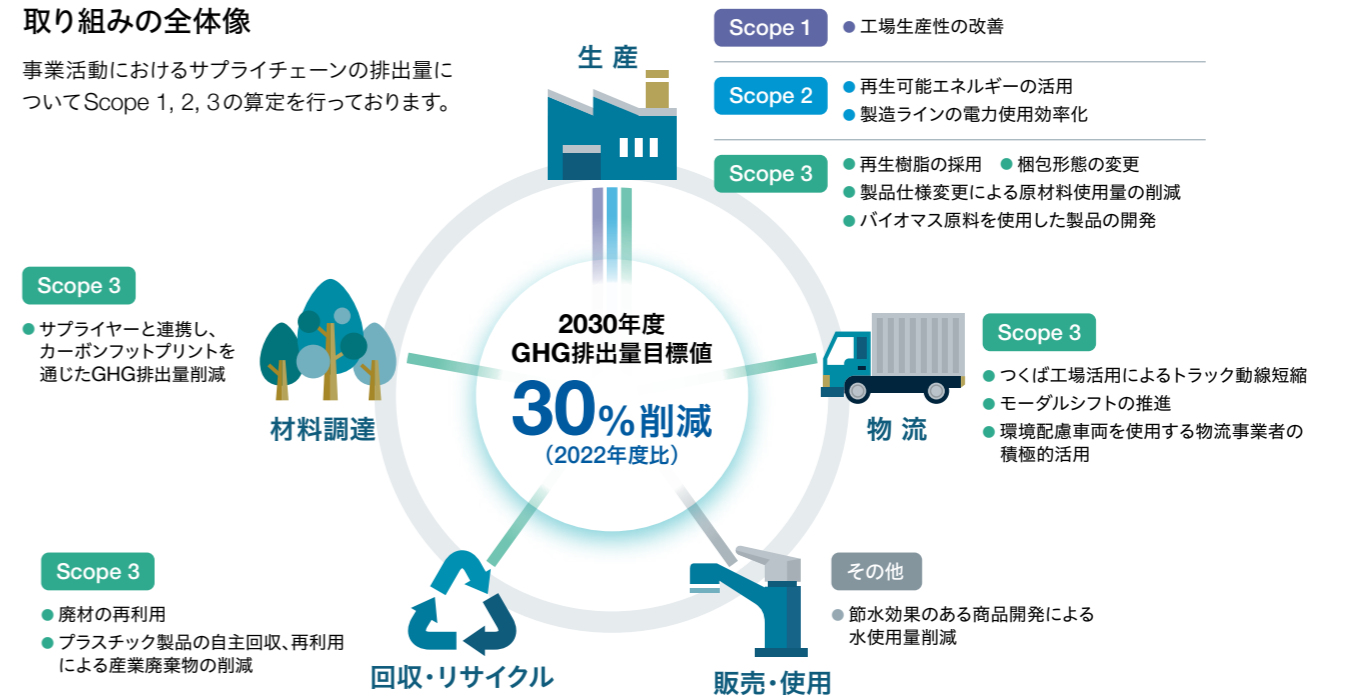
2030年までにGHG排出量30%削減をKPIとして掲げ、さまざまな取り組みを実施しております。

- 1. 再エネ・省エネの取り組み**
省エネ設備の導入、待機電力削減、太陽光パネル設置など
- 2. 製品仕様変更**
再生原料の使用、蛇口材質・重量変更など
- 3. 改革**
バイオマス原料の研究、サプライヤーとの削減取り組みなど



取り組みの全体像

事業活動におけるサプライチェーンの排出量についてScope 1, 2, 3の算定を行っております。



NSSK Award

NSSKでは、優れたパフォーマンスを達成した投資先企業をたたえ、今年からテーマごとに表彰制度を導入しました。本年の授賞先についてご紹介します。

NSSK Award 2024年度受賞企業

素材で、にっこり。

Sōkan

売上増加部門受賞

株式会社社関

営業・マーケティング・生産が連携し、順調に売上成長を達成

takägi

新規投資部門受賞

株式会社タカギ

堅調な事業成長を背景に、新本社・つくば工場への大型投資を実施

VIEWORLD

ロールアップ部門/
ESG部門受賞

株式会社WEWORLD

「世界をつなぐ、夢と人づくり」を理念に国際社会の発展に貢献

さくら薬局グループ

人材育成・補強部門受賞

クラフト株式会社

地域に根ざした「開かれた薬局」を目指して

Japan Energy Components

コスト削減部門/
ESG部門受賞

株式会社日本エネルギーコンポーネンツ

世界のエネルギー事業発展に挑戦し、豊かで幸せな未来への架け橋に

**キッズランド
UOS**

コスト削減・
合理化部門受賞

ユーエスマート株式会社

親子の絆を育む室内遊園地を全国各地に展開

NSSK Award - Case Study



株式会社 壮関

海と大地の素材を生かし、おいしさとしよやかさをお届けしています

壮関は、事業を通してSDGsの達成を目指し、社会の課題解決に取り組んでいます。茎わかめやカリカリ梅など、海と大地の素材を生かしたヘルシーで栄養価が高い素材菓子・食品を製造・販売するNo.1カンパニーです。自社ブランド商品や小売先PB・食品メーカーOEM商品などを幅広く展開、コンビニを中心に扱われています。

NSSK Award

売上増加部門受賞

営業・マーケティング・生産が連携し、順調に売上成長を達成

- 2021年度に53億円だった売上高は、年平均約+11%で成長し、2023年度には65億円を達成しました。そして、2024年度においても、さらに高い売上高達成に向けて順調に推移しています。この売上増加の実績が評価され、2024年度NSSK Award「売上増加部門」にて表彰を受けました。
- 営業活動強化による配荷獲得、SNSやテレビCMを用いた壮関ブランドの強化、需要の増加に対応する生産能力の増強などを積極的に推進、営業・マーケティング・生産が密に連携し売上を拡大しています。

ESGの取り組み

- 女性の従業員比率が高く、社員全体の70%以上を占めており、壮関の業績を支えています。(2024年6月時点)
- 売上を拡大させるなかでも、廃プラ排出量・フードロス量をKPIに設定し、環境にやさしいムダのない生産に取り組んでいます。
- 干し芋加工で発生するさつまいもの食品残さを地元の酪農・畜産農家へ提供し、家畜の飼料として活用していただいています。また、残さを活用し、新たな価値を付与したアップサイクル商品を開発するなどの取り組みも進めています。
- 本社工場と大槌工場の屋根に太陽光パネルを設置することにより、約15%の電気使用量の削減を見込んでいます。



工場から出るビニールやフィルムなど廃プラスチックを火力発電のリサイクル燃料として活用しています



さつまいもの食品残渣を最大限に活用するための取り組みを展開しています



本社工場の屋根に設置されている太陽光パネル



株式会社 タカギ

人の暮らしに快適と潤いを与え、社会の発展に貢献します

「人を潤す。世界を潤す。」ビジョンを掲げ、浄水器・散水用品などの水廻り製品の製造・販売を行う企業です。主に浄水器事業・散水事業・金型事業の3分野で事業展開を行っています。浄水器事業では1999年に蛇口一体型浄水器「みず工房」を業界のパイオニアとして発売。現在では新築マンションへの採用率が業界トップを誇る浄水器のリーディングカンパニーとなっております。

NSSK Award

新規投資部門受賞

堅調な事業成長を背景に、新本社・つくば工場への大型投資を実施

- 事業が堅調に成長を続けるなか、全国200万世帯の定期カートリッジ交換のお客様のニーズに応える大規模な生産設備の刷新と「人がまんなかにいる会社」の実現へ向けたより良い職場環境づくりを目的に、NSSKのサポートを受けながら総工費約300億円の大規模設備投資を実施しました。
- 関東初の製造拠点であるつくば工場を2024年1月に竣工し、2024年5月にはタカギ社員の念願である新本社工場が竣工しました。

ESGの取り組み

- 新工場およびつくば工場の屋根には太陽光パネルを設置し、クリーンエネルギーによる製造のための電力供給を実現、GHG排出量削減に貢献します。(2030年度までに30%のGHG削減目標)
- タカギでは会社設立の目的である「皆が楽しく働ける職場を提供する」を基本的な考え方とし、ダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。この取り組みが認められ、第15回北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰の企業・団体部門において「奨励賞」を受賞しました。
- 家庭と仕事の両立支援も積極的に推進、男性社員の育児参画を促進するため、従来の育児休業制度を21年10月より育トレ制度(育児トレーニング制度)としてリニューアルしました。その結果、男性社員の育児休暇取得率は2023年度95%まで劇的に向上しました。(制度導入前の2020年度は3%) また、新本社工場の敷地内には、タカギキッズ保育園が併設され、子育て世代の社員をサポートしております。
- 従業員のキャリア支援として、キャリア自己申告制度の導入や各従業員のキャリアプランを尊重し、その実現をサポートする体制整備も進めています。



新本社工場の空撮図
新本社工場はこれまでの約9倍となる13.5万㎡の広大な北九州小倉地区の敷地に、本社、工場棟、金型棟、R&D棟、保育園を配置



タカギキッズ保育園
子育て世代の社員が安心して働ける職場環境づくりを念頭に、内閣府の基準をクリアした保育園を併設



NSSK Award - Case Study

WEWORLD

株式会社WEWORLD

「世界をつなぐ、夢と人づくり」を理念に国際社会の発展に貢献

国内トップシェアを誇る日本語学校であるISIの運営を始めとして、大学・専門学校、中国人留学生向け予備校であるニューライン、外国人材紹介ISI Global Reach等の事業を展開する教育プラットフォーム企業です。グローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、人々の夢の実現と国際社会の発展に貢献しています。

NSSK Award

ロールアップ部門/
ESG部門受賞

3度のロールアップM&Aにより既存事業強化と新規事業進出に成功

WEWORLDはNSSK参画以降、TIJ東京日本語研修所、東言グループ、そしてニューライングループのロールアップM&Aを実施し、日本語学校定員数の大幅増加と、新規事業である予備校事業への参入を果たしました。日本語学校であるTIJと東言はISIへとリブランディングし、定員数を大幅に増加。中国人向け予備校であるニューラインも、ISIとの協業により大きなシナジー効果を生み出しています。結果、定員数は過去3年間で2.5倍となり、新規事業拡大にも成功し、こうした取り組みが評価されてNSSK Awardを受賞しました。

ESGの取り組み

- 女性従業員比率・管理職比率を高め、ダイバーシティに配慮した職場環境を目指しています。2023年度の女性従業員比率は72.7%、管理職比率は51.5%と設定したKPIを達成し、理想的な環境を実現しています。
- 学生一人当たりの紙使用量・電気使用量をトラックすることで、環境にも配慮した事業運営を行っています。2023年度の学生一人当たりの紙使用量は前年比10%減、電気使用量は2019年度比8%減を達成することができました。
- WEWORLDは2022年から、UNHCRの支援を受けて難民支援活動を行っています。これまで46名の日本へ避難してきた方々に、日本語教育を無償で提供しています。



2024年「Welcome Japan CxO Council」に参画



ゴミ拾いイベントを開催

さくら薬局グループ

クラフト株式会社

地域に根ざした「開かれた薬局」を目指して

「さくら薬局」の運営を通じて、身近な薬と健康の良きアドバイザーとして、人々の健康づくりやセルフメディケーションを支援しています。特に力を入れているのが在宅医療です。医師や看護師、ケアマネージャーなどと連携し、患者様の自宅に伺い、服薬説明や残薬確認を行うことでチーム医療の質の向上に貢献しています。

NSSK Award

人材育成・
補強部門受賞

採用力の強化を図り、中途入社者を昨年度比で30%増加

以下の施策により、中途採用人数を昨年度対比で約30%増加させたことが評価され、NSSK Award受賞となりました。①社内紹介制度およびリターン制度の拡充 ②外部エージェント様の紹介手数料増額および幹部の方々とのご面談 ③自社HPの改修および掲載コンテンツのブラッシュアップ ④採用担当者向け研修の拡充 ⑤選考プロセスの早期化および選考プロセス管理 ⑥中途採用施策の社内募集 ⑦メディアへの露出増加

ESGの取り組み

- 店舗への太陽光発電設備や蓄電設備を設置や電力の自家発電に取り組んでいます。
- 乳がんの早期発見・早期治療の重要性を啓発するための「ピンクリボン活動」に14年間継続して取り組んでいます。
- 離職率：2023年度（2024年3月期）の離職率は13.2%となっており、2022年度に比して3%以上減少。離職率低減に向けた施策として以下を推進しています。
 - ・ ADR後の従業員の不安を払しょくするためにNSSK/経営陣からの会社状況の説明会を複数回実施
 - ・ 会社発足以来初めてとなる決算賞与を支給
 - ・ 離職時のアンケート調査による離職理由の把握、対策
 - ・ 社内懇親会の積極的な促進（会社による費用負担の強化）



店舗屋根に設置された太陽光パネル



ピンクリボン活動のガイドブック

NSSK Award - Case Study



株式会社日本エネルギーコンポーネンツ

世界のエネルギー事業発展に挑戦し、豊かで幸せな未来への架け橋に

電力の安定供給の一翼を担うエネルギーインフラ企業として、配電用製品、再生可能エネルギー製品、EV充電器用製品、スパイラル製品などを広く社会に供給しています。カーボンニュートラルの実現を縁の下で支える、希少価値の高いニッチトップメーカーとして、あらゆるお客様に満足いただける『信頼される企業』を目指しています。

NSSK Award

コスト削減部門 / ESG部門受賞

労務費・物流費・在庫管理費を削減し、大型投資を実行

工場オペレーション改善に関わる取り組みや従業員の意識改革を通じて、大きく生産性が向上。労務費の削減を達成し、1人当たりの残業時間も大きく改善しました。さらに、物流費や在庫管理費用等のコスト削減に取り組む一方で、必要な投資は着実に実行し、補助金を活用しながら大型投資も効率的に実行しています。このような施策を通して、売上高が年率8.8%で成長するなか、2021年度には12.0%であったEBITDAマージンは2023年度で14.9%まで改善し、この取り組みが評価されてNSSK Award 受賞となりました。

ESGの取り組み

- 太陽光パネルの設置や工場の設備改善等の取り組みにより、消費電力量を減少させています。
- 平均勤続年数約20年、離職率6.5%と働きやすい職場環境を実現しています。直近ではユースエール認定^{※1}・くるみん認定^{※2}を取得しています。
- 地域振興の観点から、今年度からスタートする「石岡つくばねハーフマラソン大会」への協賛を実施し、地域経済の活性化にも貢献しています。

※1 ユースエール制度とは、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です。

※2 くるみん認定とは、次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と育児の両立をサポートする活動を計画・実施し、一定基準を満たした企業に対して厚生労働大臣より与えられる認定であり、JECは子育てサポート企業として評価されています。



若者の採用と育成が評価され、ユースエール認定を授与されました



ユーエスマート株式会社

親子の絆を育む室内遊園地を全国各地に展開

ユーエスマートは、日本中のショッピングモール等の屋内に室内遊園地を出店・運営しています。数百坪の広い店内にさまざまな遊具を配置しているほか、遊具を定期的に更新してより良い店舗の維持を図り、魅力的な施設で全国各地のお客様に愛されている業界のリーディングプレイヤーです。

NSSK Award

コスト削減・合理化部門受賞

高収益店舗の再現性を高める戦略で収益力をコロナ前の2倍に

各店舗の収益性を徹底検証し、高収益店舗の再現性を高める店舗開発戦略を立案することで、店舗展開の整理合理化と新規開発を推し進めました。さらに、リモートモニタリングシステムを駆使した店舗管理体制の見直しにより、店舗運営の最適化も実現しています。こうした取り組みの成果として、店舗当たり収益力はコロナ前の2倍強となりました。2024年度もより高い収益力達成に向けて順調に推移しています。このコスト削減・合理化の実績が評価され、NSSK Award コスト削減・合理化部門での表彰となりました。

ESGの取り組み

- 社員全体に占める女性比率は77%以上を占めており、上昇傾向にあります。(2024年7月時点)
- 最適な店舗運営に向けた顧客サービスの向上、遊具の入れ替え、リブランドやリニューアルの実施、遊具の配置見直し等を常に実施し、顧客満足度は年々上昇しています。
- 店舗事故の撲滅に注力しており、各店舗の過去の事故・要改善点の全店周知や全従業員への意識向上の継続的な取り組みも奏功し、事故発生件数は減少傾向です。

事故発生件数

2022年度	2023年度	2024年度
25件	15件	5件



社会貢献活動

NSSKの投資先各社は、さまざまな社会貢献活動を通じて地域社会の価値向上や課題解決へ取り組んでいます

NSSKグループでは積極的に社会・地域に貢献する活動を行っています。以下、その一例をご紹介します。

SORA GROUP

株式会社SORA GROUP

震災復興・チャリティ活動等の社会貢献活動

2024年2月期においては、社会貢献活動としてCBCが主催するチャリティ募金に協賛したほか、年始の能登半島震災の復興支援として、現地の名産物である「ほっけのいしる干し」を現地業者から買い取り「うまい魚が食べたくて」の特別復興支援メニューとして提供いたしました。こちらでは売上1食につき50円を寄付しています。



さくら薬局グループ

クラフト株式会社

「有料レジ袋収益金」の寄付

さくら薬局グループでは、2020年7月よりレジ袋を必要とされる方に、バイオマス素材を配合したレジ袋を有料で提供しております。2023年10月から2024年3月までの販売収益は281,172円となり、この収益金を公益財団法人 日本環境協会「こどもエコクラブ」に寄付し、環境保全活動にお役立ていただいています。さくら薬局グループでは、今後も環境保全への取り組みを積極的に推進していきます。



エルソニック株式会社

瀬戸内オリーブ基金とパートナー協定を締結

エルソニック株式会社では、店頭募金を通じて瀬戸内オリーブ基金の環境保全活動を支援しています。「瀬戸内オリーブ基金」は、産業廃棄物の不法投棄事件「豊島事件」をきっかけに設立し、豊島および瀬戸内海エリアの美しい自然を守り、再生し、次の世代に引き継ぐことを目指しています。



素材で、にっこり。 Sōkan

株式会社社関

子ども食堂への商品提供と支援

株式会社社関では、フードロス削減のため、未来を担う子どもたちのために栃木県内の「子ども食堂」や地域イベントなどに商品を寄贈しております。



株式会社日本産業推進機構

「FIT For Charity Run 2024」に参加

2024年9月16日、東京都の国立競技場において「第20回FITチャリティ・ラン2024」が開催されました。FITチャリティ・ランは2005年に東京の金融業界の企業が結集して日本の非営利団体を支援する目的で設立されました。NSSKを含め国内外の金融機関103社、4,000名超が参加しました。寄付金については、厳正な審査を行った結果、女性の活躍推進、障害者支援、育児支援、介護支援など多岐にわたる分野で支援活動を行っている団体に対して寄付することが決定されました。NSSKグループからは日本産業推進機構と投資先 (DNS) が協賛を実施しました。



私たちの新しい投資案件のオンボーディングの手法は、この10年間で作り上げられてきました。経営陣や従業員などのパートナーから多くのことを学び、今ではそれらが商標登録された価値創造ツールキット (NVP®) として効果を発揮し、投資先にも彼ら自身のもので受け入れられ、持続的な価値創造に役立っています。

パートナー
秋山 翔平



株式会社日本産業推進機構

グローバルトップクラスのベストプラクティスを学べる地方銀行のための研修を実施

NSSKでは、地方銀行の皆様へPEファンドの全般的業務 (案件発掘、新規投資、業務改善、出口、一連の業務フロー・マニュアル等) について、グローバルトップクラスのベストプラクティスを学んでいただける機会を提供するため、座学から実践研修までを実施いたしました。



Philosophy

NSSKのフィロソフィー

- 43 NSSKのフィロソフィー
- 47 NSSKのESG推進組織



白川郷（岐阜県）

NSSKフィロソフィー



NSSKでは、投資活動を通じて利益を追求だけでなく、「人間として正しいことを貫く」をモットーとして、その活動を通じて社会への貢献を考えています。このために、日々何を指針にすべきかを検討し、NSSKメンバーが一丸となり、「NSSKフィロソフィー」を制定しました。私たちはこのフィロソフィーを投資先の経営者や従業員と共有し、すべてのステークホルダーから信頼と期待に応えることを誓っています。

Mission NSSKミッション

人として正しいことを貫き、
すべてのステークホルダーの物心両面の幸福を最大限追求すると共に、
世界トップクラスの投資運営会社を築きあげ、
ESG（環境・社会・企業統治）の推進に貢献する

Values NSSKとしての行動規範

1. 利他の心を判断基準にする：人として何が正しいか
2. 謙虚にして奢らず
3. 正しい勇気を持つ
4. 誰にも負けない努力をする
5. 常に高い目標にチャレンジする
6. 常に明るく前向きに、素直な心で
7. 仕事・人生の成功の方程式：能力 × 熱意 × 考え方
8. 公平で風通しの良いファミリー的な組織づくり

Management NSSKグループ企業の経営5箇条

～グッドカンパニーをグレートカンパニーにするために～

1 事業としての社会的意義

事業の社会的意義を訴求することで、本質的なやる気を引き出します。社会的に意義のある事業に関与しているからこそ、やりがいをもって働くことができ、ひいては満足度も高まり、家族や友人などの周囲の人に対しても自身の仕事に誇りをもつことができます

2 持続的な利益の最大化

高収益体質であればこそ、未曾有の事態や経営環境の大きな変化を乗り越えられる財務基盤がつくれ、一人ひとりの生活を守ることができます

3 経営者マインド

従業員の一人ひとりが自らの事業の運営に経営者マインド（当事者意識）をもって参画し、持続的な利益の最大化に努める経営を目指します

4 経営の見える化

財務数値だけでなく、主要な経営管理指標（KPI）を適切に把握できるように「経営の見える化」を早期に実現することが重要です。財務数値には表れない小さな変化を早期に発見することで、チャンスをものにし、困難に対しても適切に準備することができます

5 変化への適応

環境変化に対応するためには、ダーウィンの「進化論」のように、自らを常に変化させて適合していくことが重要です。会社が永続的に存続していくためには、常に自社の製品・サービス、組織、考え方を進化させていく必要があります

NSSKフィロソフィー

NSSKフィロソフィー・プログラムの理念

NSSKでは、従業員の教育と人材開発を支援するアプローチとして「NSSKフィロソフィー・プログラム (NPP)」を制定しています。NPPの理念は「人間として正しい生き方をする」という人生哲学です。NSSKに関わる、すべての従業員がこの人生哲学に従うことを奨励しており、それが結果として従業員一人ひとりの幸福と、会社の繁栄につながると考えています。

NSSKフィロソフィー・プログラムの内容

NPPは、京セラで稲盛和夫氏を30年以上にわたって支えてきたNSSKのチーフコーポレートフィロソフィーオフィサー (CPO) である大田嘉仁が中心となり、6つの要素をベースに開発されたものです。企業理念の重要性とその策定・浸透方法を説き、投資先企業の独自の「企業理念」の確立を支援します。

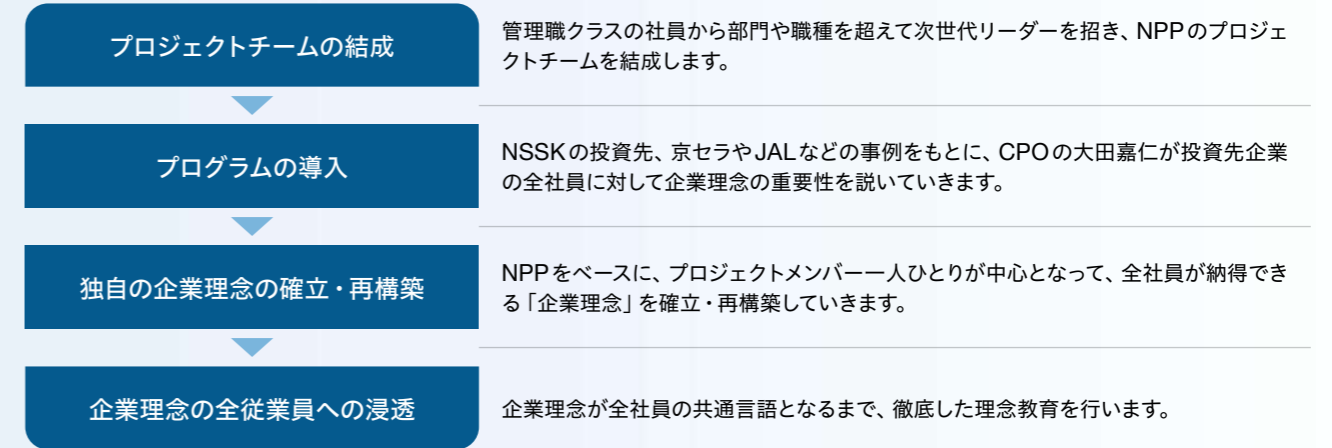


NSSKフィロソフィー・プログラムをもとに
従業員の教育と人材開発を支援しています。

シニアマネージャー
佐藤 くらま

NSSKフィロソフィー・プログラムの目的

NSSKのアプローチ



大田嘉仁CPOによるNPP講義の様子
(株式会社タカギ)



大田嘉仁CPOによるNPP講義の様子
(株式会社マイティ・マイティ)

Message チーフコーポレートフィロソフィーオフィサー (CPO) より

全従業員が生き生きと働ける社風をつくる

米国ギャラップ社の調査によると日本企業で熱意のある社員の割合はわずか5%と世界最低であり、34%の米国の7分の1でしかありません。100名の社員がいたとしても、本気で働いている社員が5名だけでは、生産性や競争力を高めることができるはずはないのです。では、どうすれば熱意ある社員の割合を高められるのでしょうか？ まず必要なことは経営者が社員の幸福を願う利他の心を持つことです。社員が幸福になれば、創造性は3倍に、生産性は30%アップすることが米国の調査でも判明しています。さらに、企業としての一体感を高め、健全な発展を目指すのであれば、全従業員が人間として正しい考え方を持つことも必要になります。これが、経営の神様と言われる稲盛和夫氏の経営哲学の根幹をなすものであり、JALの奇跡の再建を通じて、その普遍性が立証されたものでもあります。

NPPとは、私の日本航空での経験をベースに、投資先の経営陣の方々と、どうすれば全従業員の熱意を高めることができるのかを議論し、実践していくためのプログラムであり、すでに多くの企業で大きな成果を生み出しています。経営者の皆様が真摯にNPPの実践に取り組めば、全員参加経営が実現でき、経営改善に大きく貢献できると確信しています。



特別顧問
チーフコーポレート
フィロソフィーオフィサー (CPO)
大田 嘉仁

30年近く、側近として京セラ (株) 創業者稲盛和夫氏を支え、JAL再建時には、稲盛会長補佐として、意識改革などを主導。直近では、経営危機に陥ったReFaブランドで有名な (株) MTGを再建。京セラ株式会社取締役、日本航空 (株) 専務、京セラコミュニケーションシステム会長、(株) MTG会長などを歴任。著書に「JALの奇跡」「稲盛和夫 明日からすぐに役立つ15の言葉」「運命をひらく生き方ノート」がある。

NSSKのESG推進組織

ESG 多様性&インクルージョン委員会の設置



NSSKはESGを推進するための組織として「ESG多様性&インクルージョン委員会」を設けています。この委員会において、ESGに関する基本方針の策定や課題の継続的なレビュー、ESG関連情報の社内への共有と課題対応のモニタリング、投資先のESGチェックリストの継続的なアップデート、ESGの取り組みに対する定期的なステークホルダーへの報告などを実施しています。

ESG 多様性&インクルージョン委員会の体制

「ESG多様性&インクルージョン委員会」は、NSSK代表の津坂純を議長として、各部門（投資チーム、IRチーム、ビジネスサポートチーム）のメンバーに加え、チーフコーポレートフィロソフィーオフィサーおよびESG監査役などの9名で構成されています。この委員会では、NSSKおよび投資先企業・投資先候補におけるESGの問題について議論がなされています。また、グローバル企業で豊富なCFO経験を持つ伊藤隆治がESG監査役を務め、NSSKのESG関連の活動を監査しています。



具体的な活動内容

- 月1回のESG委員会にて、NSSKおよび投資先企業のESG戦略、ESG推進のための仕組みづくりについて討議
- ESG監査役による投資先企業の監査の実施
- 月1回の各投資先企業の経営会議におけるESG KPIのレポート
- 投資先の経営者および従業員に対するESG研修の実施
- 署名機関への開示書類の手配

NSSK ESG 委員会メンバー



津坂 純 Jun Tsusaka
代表取締役社長
ESGコミッティー議長



伊藤 隆治 Takaharu Itoh
ESG監査役



大田 嘉仁 Yoshihito Ohta
特別顧問
チーフコーポレート
フィロソフィーオフィサー (CPO)



秋山 翔平 Shohei Akiyama
パートナー
NVP/管理ビジネスサポートチーム
統括責任者



松田 清美 Kiyomi Matsuda
ファイナンスディレクター
ESGリーダー



佐藤 くらま Kurama Sato
シニアマネージャー
ESGリーダー



石井 謙吾 Kengo Ishii
ディレクター
IRチーム統括責任者



岩見 誠人 Makoto Iwami
パートナー
投資チーム共同統括責任者



伊藤 憲子 Noriko Ito
マネージャー
NVP実行支援チーム

Message

ESG 監査役より

NSSKはESGの重要性、必要性を真摯に認識しています。NSSKのESGへの取り組みは企業文化や会社の価値観、世界観にまでなっていると確信しています。ESGはいまや企業投資の新しい判断基準であり、企業の持続的な成長の土台となり得るものです。ESGはまた、企業がリスクや機会を十分認識し、社会課題に事業を通してどう取り組んでいくかという問題提起だと理解しています。投資先企業がESGのLeading Companyとして成長できるよう、NSSKはESG監査を通じて貢献しており、今年も大きく推進したと想っています。



伊藤 隆治 Takaharu Itoh
ESG監査役

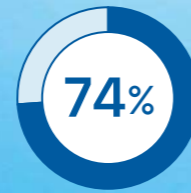


DIVERSITY & INCLUSION

ダイバーシティ&インクルージョン

NSSKはダイバーシティ&インクルージョンへの取り組みに力を入れており、すでに優れた成果を上げています。

NSSKは投資活動において、ESGのなかでもダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包摂）を重視しています。いま日本社会が抱える大きなチャンスが「ジェンダー・オポチュニティ」で、男女の差を埋めるために取り組めることはたくさんあります。NSSKはダイバーシティとインクルージョンの改善を使命として掲げており、投資先企業において女性の活躍推進を図り、数々の成果を上げています。



全従業員
(約20,000人)に
占める女性比率



管理職に占める
女性比率



女性または
マイノリティの
CEO/COOを有する
会社の比率

※2024年6月時点の投資先企業のデータに基づくもの



株式会社ミライフ
取締役副社長
川田 雅子氏

株式会社 WEWORLD
取締役 COO
井上 由紀子氏

株式会社日本産業推進機構
投資チーム シニアマネージャー
大橋 俊介

株式会社日本産業推進機構
投資チーム マネージャー
酒井 俊介

ESG 座談会

さまざまな人々に成長の機会を提供し、 地域社会に貢献しながら持続的に発展する企業へ

グローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、人々の夢の実現と国際社会の発展に貢献することを理念に掲げ、日本人学校・外国語専門学校を運営しているWEWORLDグループ (WEWORLD)。そして、コンピュータ教育をメインに北海道から沖縄までの各地域で136を超える教室を展開し、パソコン講座を中心に各種教育講座を提供している株式会社ミライフ (ミライフ)。両社でそれぞれ要職を務める井上由紀子氏と川田雅子氏をお迎えし、ESGへの取り組みについてお話をうかがいました。

語学やITの教育事業を通して 多様性のある豊かな社会の実現に貢献

大橋 WEWORLDとミライフはともに「教育」に関する事業を展開されています。教育は、個人にとっても社会にとっても極めて重要なことですが、事業を通してどのように社会に貢献していこうとされているのか、それぞれお考えを聞かせていただけますか。まずは、語学教育事業を手がけるWEWORLDの井上さんからお願いします。

井上 現代のグローバル社会において、語学教育は単なる言語習得の枠を超え、多様性を理解し尊重するための重要な手

段となっています。私たちの日本語学校では、学生が多様な文化や価値観に触れ、異なる背景を持つ人々と効果的にコミュニケーションを取れるように全力でサポートしています。語学教育を通じて学生は異文化を理解し、偏見やステレオタイプを克服し、多様性を尊重する態度を養います。これにより、異なる背景を持つ人々と協力し、ともに働くための基盤が築かれ、多文化共生社会の実現に貢献します。

さらに、語学力は国際的なキャリアの構築にも役立ち、自己実現の機会を広げることができます。新しい言語を学ぶことで認知能力や問題解決能力が向上し、自己理解も深まります。語学教育は個人の成長だけでなく、社会の発展にも大きく寄与するものです。今後も、その重要性はますます高まると考えています。



酒井 IT教育事業を主に営まれているミライフの川田さんはいかがですか。

川田 現代社会はパソコンやスマートフォンなどデジタルツールを活用することが、どの世代においても不可欠になっています。当社の顧客層は40代から70代の中高年世代が中心となっており、パソコン自体やオフィスソフトの使い方など、ベーシックなITスキルを習得したいというニーズが大きいのが実状です。この傾向は、これだけパソコンやスマホが一般化した昨今では意外に思われるかもしれませんが、実は大きくは変わっていません。仕事にせよプライベートにせよ、WordやExcelを使いこなしてやりたいことを完了できるのは、まだまだ大きな価値があり、当社としてもしっかりコンテンツのリニューアルを繰り返しながら後押ししています。

一方でAIやインターネットサービスの活用など、新たなニーズも日々生まれていることは実感できるところであり、開発チーム考案のトップダウン、現場からニーズを吸い上げるボトムアップの両面から、常に新たな講座のアイデアの種を集めるようにしています。

酒井 社会の変化に対応していくためには、新たな講座の開発・運用を担う人材の育成がますます重要になるのでしょうか。

川田 おっしゃる通りです。ベーシックな変わらないもの、時代の移り変わりとともに変わっていくものが講座として共存し膨らんでいく状況において、教育ビジネスでは現場の人材育成が最重要テーマになっているように感じています。この点は試行錯誤

の連続ではありますが、当社の資産であるe-learningのプログラムをもちろん活用しつつ、効果的な研修制度の設計やメンター制度の導入などを進め、可能な限り効率的にインストラクターとしてのスキルを向上させられるようサポートしています。

地域と共存共栄していく経営に いっそう力を入れて取り組んでいく

大橋 企業を持続的に発展させていくためには、地域との共存共栄が不可欠です。ESGの観点からも重要視されているポイントですが、地域にいっそう貢献するためにミライフではどのようなお考えで事業を推進されているのでしょうか。

川田 当社のビジネスモデルは商工会議所との共存共栄が前提となっており、その意味で地域住民と深い関わりがあります。現在はいわゆるB2Cのサービスが中心であり、直接的に地域住民の皆様のデジタルリテラシー向上に貢献できていると考えていますが、今後はリスキリングなどのニーズが大きくなっている地域の中堅中小企業向けのe-learning講座の提供などのB2B領域にも展開していく予定です。こうして地域コミュニティに根差した教育ビジネスを広く展開していくことができればと考えています。

酒井 WEWORLDでは、事業を通してどのように地域社会と関わり、どのような価値を提供していられるのでしょうか。

井上 WEWORLDでは、留学生が地域と深く関わり、留学生生活を豊かにするためのさまざまな活動を行っています。文化体



験プログラムでは、地域コミュニティとの交流を通じて、日本語学習を深める機会を提供しています。東京、大阪、京都などの都市において、浴衣体験やスキーなど、季節ごとのユニークなアクティビティを楽しむことができます。また、多国籍の学生と日本人学生との交流イベントを頻繁に開催し、異文化理解を促進しています。

さらに、地域ボランティアや学校での講演会・交流会を通じ、留学生が地域と強く結びつく取り組みも行っています。これにより、留学生が日本社会に溶け込み、学びと成長を深められる環境を整えています。

企業価値をさらに高めていくための ESG活動をこれからも推進していく

大橋 これから企業価値をさらに向上させ、社会に必要とされ続ける存在となるために、どのようなESG活動に取り組んでいきたいとお考えですか。

川田 まず前提として、現在のビジネスを拡大していくことこそが、全国の受講生の皆様のデジタルリテラシーの向上につながり、それが結果として健康寿命の延伸や便利で健やかな暮らしにもつながり、ESG的な価値を最も広げることができると考えています。もう少しダイレクトな取り組みとしては、やはり環境面で世の中に貢献していければと考えています。具体的には、すでに教室のタイルカーペットを再生素材の製品に変えるなどの取り組みを進めているほか、今後は紙媒体がメインとなっている教材のデジタル化や、日常の業務の効率化による紙使用量の削減などを構想し、いま検討を進めています。

井上 WEWORLDは今後のESG活動として「難民支援の強化」と「外国人が日本社会に溶け込むためのフリースクールの提供」を計画しています。フリースクールでは、外国人に対して日本の歴史や文化、マナーを教え、社会への適応を支援していきます。

難民支援活動においては、戦争や紛争、迫害を逃れて日本に避難してきた方々に対し、日本語教育を無償で提供しています。日本語能力や日本文化の教育に加え、就職・進学も行っており、この活動はUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の後援を受けています。2024年1月までに36名の学生を受け入れており、今後も支援を拡大していく予定です。

酒井 では最後にステークホルダーの方々に向けて、それぞれのお立場からメッセージをお願いします。

川田 ミライフは、これからもIT教育を通して地域社会に貢献していきます。ぜひ全国の商工会議所パソコン教室にお越しいただき、デジタルスキルを高めるお力添えをさせていただければと思います。

井上 WEWORLDが掲げる企業理念は「グローバル人材育成を通じて国際社会の発展に貢献する」ということです。この理念のもと、困難な状況にある方々を支援し続けていきます。

大橋 本日は貴重なお話をいただき、大変ありがとうございました。我々もパートナーの皆様とのさらなる成長と繁栄に向けて、いっそうご支援に尽力していく所存です。



社歌

いさお 熱しの誓い

作詞・作曲：小椋 佳

ここに集いてファミリーとなし
押し並べて皆 幸せ創り
灌木だけの 瘦せた土地さへ
恵み豊かな 緑の森へ
姿を変える 熱し誓う
正しき事を 貫き通す
志なお 今日も新し
誇りを胸に NSSK

謙虚努力を ただ常となし
誰彼とない 幸せ創り
関わる人の 悩み戸惑い
寄せる眉間に 福を呼び寄せ
笑顔に変える 熱し誓う
眼差し遥か 世界を見据え
人の喜び 我がものとして
感謝を胸に NSSK



小椋 佳氏 PROFILE

1944年1月東京、上野に生まれる。

67年東京大学法学部卒業後、日本勧業銀行（現みずほ銀行）に入行。同行に約四半世紀勤務、浜松支店長・本店財務サービス部長等を経て93年退職。94年東京大学法学部に再入学。文学部思想文化学科に進み、哲学専攻にて2000年大学院修士号取得。この間、71年初アルバム「青春・砂漠の少年」を発表。3作目のアルバム「彷徨」は100万枚のセールスを突破。以来、ソングライターとして、布施明、中村雅俊、堀内孝雄、美空ひばり等、多数のアーティストへ作品を提供。「シクラメンのかほり」「俺たちの旅」「夢芝居」「愛しき日々」「愛燦燦」など数多くのヒット作品がある。

社歌「熱しの誓い」
https://youtu.be/_WyQNUU3b94



編集後記

2021年に始まったNSSK ESGレポートを今年もお届けできることを大変喜ばしく思います。このレポートを作成するにあたり、年々投資先のESGへの取り組みが強化されていることを改めて感じております。今年は創業10周年という節目の年でもあり、卒業した投資先企業のESGの取り組みとその成果についても振り返る機会となりました。これにより、ESGと企業の成長との相関関係が非常に深いことが明らかになりました。

NSSKは創業当初からESGの基本方針を掲げ、ESGの取り組みを重要なミッションと認識し、投資を実践してまいりました。このレポートを通じて、NSSKのESGへの思いや、これまでに実施してきたさまざまな取り組み、その成果を読者の皆様にお伝えできれば幸いです。

今回のESGレポートでは、NSSK Awardを受賞された投資先企業の取り組み事例をご紹介します。これらの企業は、環境保護、社会貢献、ガバナンスの各分野で優れた成果を上げており、その取り組みは他の企業にとっても大いに参考になるものです。ESGに関しては、企業間の競争ではなく、ベストプラクティスを共有し、共に学び合うことが重要であると考えております。

最後に、このレポートの作成にご協力いただいたすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。皆様のご支援とご協力があったからこそ、ここまでの成果を上げることができました。今後も、持続可能な未来を目指し、ESGの取り組みをいっそう強化してまいります。引き続き、ご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

NSSK ESG委員会メンバー一同

会社概要



会社名	株式会社日本産業推進機構
英文社名	Nippon Sangyo Suishin Kiko Ltd.
創業	2014年11月1日
代表者	代表取締役社長 津坂 純
所在地	〒105-6241 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー41階
Webサイト	nsskjapan.com

増上寺、東京タワー、愛宕神社の近所です。
当ビルの42階に素晴らしい眺望と
お洒落なレストラン・バーもございます。
お近くにお越しの際は、皆様、ぜひお立ち寄りください。

NSSK一同



増上寺
www.zoji.or.jp/takara



東京タワー
www.tokyotower.co.jp



愛宕神社
www.atago-jinja.com/about



愛宕グリーンヒルズMORIタワー
www.xexgroup.jp/atago